

はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町 電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672
年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

9月聖句

『 人を分け隔てしてはなりません。』

(新約聖書ヤコブによる手紙2章1節)

讃美歌：やさしいめぐ

<巻頭言> 叱らない！ 教えない！ でも子どもは育つ。

園長 小山哲夫

8/21のインターネット（文春オンライン）に「おおたとしまさ」さんの「叱らない！教えない！でも子どもは育つ」という記事がありました。正直なところ、なんとなく理解できるけど“教育の現場ではちょっと理想論過ぎるなあ”と思いながら読んでみると、子育てにも通じる大切なポイントが指摘されていました。紹介します。



神奈川にある東大合格者数が全国トップレベルの栄光学園中学高等学校に、通称「イモニイ」と呼ばれる井本陽久さんという数学教師がいるそうです。超進学校ですが、井本先生は大学受験指導を一切せず、宿題も出さず、市販の問題集も使いません。それでも教え子には、数学オリンピックや数学甲子園の上位入賞者や世界で認められた最新アプリの開発者などがぞろぞろいるそうです。そのため全国の教員・塾講師が、井本先生の授業を「一目見たい」と訪れ、「授業を受ける生徒たちの躍動感がまるで違う！まるで魔法のようだ！」と感動して帰っていくそうです。

井本先生の授業：魔法の秘密の1つは、生徒との対等な関係性にあり、その安心感の中でこそ、子どもたちは最もよく学び、結果を出し、大きく成長するということだそうです。

生徒に井本先生の「評判」を聞くと、「生徒への愛が普通じゃない」「自由な人。生きていけばそれでいいじゃん」と本気で言ってくれる」「夢中にさせる名人」「生き方がカッコいい」「ツッコミどころ満載で、生徒からナメられそうなのに、ナメられない。それが不思議」と話してくれたそうです。

井本先生が大切にしている子ども達とのコミュニケーションのコツは、「ふざけ」「いたずら」「ずる」「脱線」を大切にすることでした。「そもそも子どもが『ふざけ』『いたずら』『ずる』『脱線』をしている時は、いちばん自分の頭で考えている時。それをむやみにストップしてしまうのはもったいない。むしろそれを活かすと子どもの可能性が広がる。そして、子どもの良いところを認めるようにすると、子どもはどんどん自分で考える子になっていきます」と力説しています。

そして、井本先生自身が生徒に怒ったり注意する時も、「自分の怒りを正当化しない」ことを大切にしているそうです。



私たち大人は、子どもの為と思いながら、ついつい子どもを追いつめてしまうことがあります。井本先生は、その時の大人は、自分の怒りを正当化して、子どもを追いつめるという悪循環に陥っていることが多いと指摘しています。気をつけたいと思います。

井本先生は「子どものやる気を引き出したいなら、本当にささいなこと・簡単にできること・当たり前のようにやっていることを、ちゃんと評価・指摘すると子どもは変わり、いろいろなことにやる気を出すようになる」そうです。しかし注意しなければならないのは、ちゃんと子どもを見ないで、ただ大げさに褒めるていると、褒めることが目的になって、全く子どもの心に響いていないことが多いことも指摘しています。井本先生は「自分がイラッとする時、そこに自分の中にもある弱さを心の底で感じます。だからイラッとしてしまうんです。その子の中にある未熟な部分、弱い部分を認めてあげることは、結局は自分自身の中にも同じくある未熟な部分、弱い部分を認めることになるんです。だから僕は、子どもたちを通して自分自身を解放させてもらっているんだと思うんです」と話されています。

最後に井本先生は、「世の中には色々な子がいて、僕なんかではまだ受け入れられない子もいると思います。そういう子を見ても、『本当にかわいいな、最高だな』って心から思えるようになりたい。もっと色々な子どもと出会いたい」と言われています。心が洗われる思いがします。



世界各国で子育てを経験されている方が、「日本に帰省して、子連れの外出の時、電車の中で『子どもをぐずらせるな！』『静かにしたいから席を代われ！』などと何度も言われ、

いつも周囲に気を使って謝っている。日本が一番子育てしにくい」・「諸外国におむつ交換台はないが、トイレでオムツ交換に苦戦していると、いつも誰かが助けてくれた」・「子どもが電車でぐずっても、誰一人いやな顔せず一緒にあやしてもらった」。年々帰省するたびに、日本人の心の余裕がなくなっているように感じる。と吐露されています。

65歳になる爺園長も、保育所の3歳未満児の純真さを見ていると、心が癒されます。もう少し心に余裕を持って、頑張らなきゃと思いました。

< 9月の行事予定 >

2日(月) 8/31代休 はこぶねハウス朝から開所	16日(月) 休日 敬老の日
3日(火) 幼児体操教室 トレセン	20日(金) 9月お誕生会 米粉・イモ団子
6日(金) 避難訓練・通報・消火訓練(教師) 北海道シェイクアウト(災害訓練)参加	21日(土) 土曜休園
7日(土) 土曜休園	23日(月) 休日 秋分の日
10日(火) 休園(教師園内研修) はこぶね朝から開所	24日(火) 収穫感謝週間(～9/27)
11日(水) 芋掘り・クラス交流保育 1年生同窓会 3:30～4:30	25日(水) 鱒の採卵体験
12日(木) 秋の遠足(園児のみ)	27日(金) 収穫感謝昼食 クラス交流保育
13日(金) 子育てを語る会	28日(土) 土曜休園
15日(土) 土曜休園	29日(日) PTA 凧揚げ交流会 10:00～
	30日(月) 月末統計 あそびんこクラブ

<お知らせ>

1、秋の遠足(園児のみ)について 詳細は別紙でお知らせしました。

2、9月お誕生会 9月20日(金) 米粉と畑のじゃがいものお団子

9月は米粉と幼稚園の畑で収穫したジャガイモを使って、お団子を作って食べます。少な目のお弁当を持たせて下さい。アレルギー他がある場合は担任に連絡して下さい。



3、PTA親子凧揚げ交流会について

9月29日(日)、今年は簡単なデルタカイトを作って、モーモー城で凧揚げを楽しみます。どうぞ、多数ご参加下さい。



4、1年生同窓会について

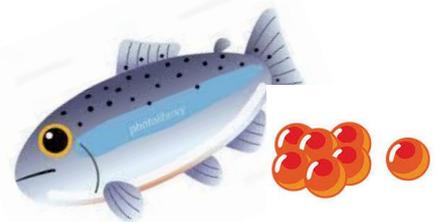
9月11日(水) 午後3時30分～4時30分

3月に卒園した新1年生の同窓会です。卒園児には葉書で案内しました。

5、鱒の採卵 9月25日(水)に予定しています。

(現在、詳細は 漁業組合と調整中です。)

今年も、沙留漁業組合のご協力により、例年継続してきた鱒の採卵体験を、月末までにできるようにお願いしています。詳しい日程他が決まりましたらお知らせします。



6、秋の収穫感謝について

秋の収穫感謝週間として、9月24日～9月27日の間に、秋の畑収穫状況に合わせて様々な観察活動・調理活動を行います。詳しくは週案でお知らせしますので、ご確認下さい。なお、27日に予定している収穫感謝昼食については後日お知らせいたします。



7、子育てを語る会

☆9月13日(金) 10:00～11:45 はこぶねハウス

☆テーマ「叱らない! 教えない! でも子どもは育つ。」

巻頭言にあるように、井本陽久先生の子どもと向き合う姿勢から、子育てのポイントを学びます。多数ご参加下さい。父母の方だけでなく、祖父母の皆さんもご参加下さい。 以上